

第12 研究業績

1 科学研究費交付一覧（令和3年度採択+令和2年度採択・継続）（間接経費含む）

令和3年度科学研究費（新規採択）

准教授 土屋 拓也	発展型偏微分方程式における高精度数値計算手法の構築	780 千円
教授 竹内 貴弘	温暖化に対応した氷海構造物の複合劣化プロセスの解明と新たな維持管理手法の構築	1,820 千円
教授 小坂谷 壽一	難曲津軽三味線民謡（じょんがら節）の構成音素解明と高精度自動採譜手法に関する研究	1,690 千円

令和2年度科学研究費（継続）

基盤研究(C)（間接経費含む）

准教授 安部 信行	先端技術による視覚障害者の歩行支援システムの開発及び実証的研究	2,080 千円
教授 岩見 一郎	工学研究活動を行う学生の複言語話者としての熟達とアイデンティティ変容に関する研究	2,080 千円
准教授 越田 俊介	自由自在な特性調節が可能な可変デジタルフィルタの高精度化のための基盤技術開拓	2,080 千円
准教授 柴田 幸司	機能性物質創成のための温度変化環境下における液体の広帯域複素誘電特性測定法の確立	1,040 千円
教授 阿波 稔	養生と暴露環境に着目したコンクリート構造物の表層品質とスケーリング抵抗性	1,430 千円
准教授 迫井 裕樹	コンクリートの表層品質及び劣化程度に応じた表面含浸材の適用とその効果	1,430 千円

若手研究（間接経費含む）

講師 片山 裕美	自己組織化単分子膜を利用した電極修飾型有機ハイドライド法の開発	1,820 千円
-------------	---------------------------------	----------

研究活動スタート支援（間接経費含む）

講師 島内 宏和	高精度かつ安定な深層学習のための確率的擬等角活性化関数の構築	780 千円
-------------	--------------------------------	--------

令和2年度科学研究費（継続）

基盤研究(C)（H31採択 間接経費含む）

教授 松浦 勉	〈戦後教育学〉はどのように戦争責任と植民地支配責任を考えたのか	1,690 千円
教授 嶋脇 秀隆	原子・ナノ積層構造制御による超高輝度な面放射型ホットエレクトロン放出デバイス	1,170 千円
准教授 工藤 祐嗣	重力環境の違いに着目した消火設備・消火戦術の高度化に関する研究	260 千円

基盤研究(C)（H29採択 間接経費含む）

教授 鈴木 寛	導電性と透光性を備えた大形の導電性ナノファイバ/樹脂薄膜の移動電界印可による試作	650 千円
------------	--	--------

令和3年度科学研究費（分担）

基盤研究(A)（間接経費含む）

准教授 大室 康平	運動イメージと協調運動の脳機構に基づくスキー技術の学習支援システム構築	520 千円
准教授 高瀬 慎介	地盤の支える機能から流れる性質までの統合表現による数値シミュレーション	520 千円
教授 金子 賢治	地盤の支える機能から流れる性質までの統合表現による数値シミュレーション	520 千円

基盤研究(B)（間接経費含む）

准教授 杉本 振一郎	電磁場解析のエクストリームスケール・コンピューティングを実現する高速数値解法開発	260 千円
准教授 越田 俊介	骨導立体音像定位システムを個別最適化する補正フィルタ及び適応的学習法の開発	780 千円
講師 片山 裕美	マグネタイト形成反応を利用した放射性セシウム汚染土壌の磁選分級技術	260 千円

基盤研究(C)（間接経費含む）

講師 西尾 洸毅	全室暖房完成時代のエンプティネスト期を迎えた住宅からみる寒地住宅の新たな可能性	455 千円
教授 竹内 貴弘	海氷等の離散体を伴う津波シミュレーションの高度化と計算知能を用いたリスク分析	260 千円
講師 畠山 研	AIを援用したパフォーマンステスト半自動採点システムの開発	39 千円
准教授 土屋 拓也	Einstein 方程式の構造保存型数値解法の構築	143 千円

挑戦的研究（萌芽）（間接経費含む）

准教授 迫井 裕樹	従来の空気量管理に依存しない非空気連行型耐凍害性コンクリートの開発	260 千円
--------------	-----------------------------------	--------

2 文部科学省私立大学等改革総合支援事業

年度	事業名
令和2年度	タイプ2「特色ある高度な研究の展開」